

氏名： 内藤 俊史 (NAITO Takashi)
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系
学位： 博士(教育学)(1998 慶応義塾大学)
職名： 教授
専門分野： 教育心理学、異文化間心理学
URL： <http://members.aol.com/naitot/morality.htm>
E-mail： naitot@aol.com

◆研究キーワード / Keywords

道徳性発達／道徳的感情／感謝感情／比較文化
moral development / moral emotion / gratitude / cross-cultural study

◆主要業績

総数 (1) 件

- ・内藤俊史 2007 生命観の発達心理学に向けて 上廣倫理財団編 「倫理的叡智を求めて」 東京：東洋館出版 31-51

◆研究内容 / Research Pursuits

2004 年から継続して、自然に対する感謝感情の要因と関連変数について、日本とタイとの比較を通して検討している。本年度は、2006 年の予備調査にもとづき、自然への感情と環境保護態度との関連を日本の大学生とタイの大学生を対象として調査を実施した。また、その結果の公表のための準備作業をタイの共同研究者とともに取り組んだ。

Since 2004, I have engaged in collaborative research on gratitude with researchers in Thailand. Based on the findings of our preliminary study in 2006, a cross-cultural study was conducted to investigate relation between gratitude to nature and environmental attitude.

◆教育内容 / Educational Pursuits

学部では、教育心理学に関連する講義、演習を担当し、大学院では、道徳性に関する授業を担当した。学部の演習では、思いやりをテーマとしつつ、コメントの作り方に焦点を当てた授業を実施した。

I had classes of Psychology Course in the undergraduate course and the graduate course: lectures on Educational Psychology, Introduction of Psychology with other faculties, and seminars on Educational Psychology. In the seminars, moral development and pro-social behaviors were selectively focused as main themes.

◆研究計画

道徳的感情、なかでも感謝心について、その発達の様相を、アジア諸国との比較研究と観察や実験研究を組み合わせるにより明らかにする。感謝心に関する共同研究。

◆メッセージ

心理学のテーマは、私たちの日常のなかにも多く見出すことができます。大学は、それをより確かな方法で探究する場です。心理学にはいろいろな方法があります。問題意識を大切にしつつ、方法を学んでいく意欲を持ち続けてください。